

## 5 教科研究

教科	研究テーマ	○研究の重点 ・具体的な手立て
国語	思いや考えを適切な言葉で進んで伝え合う子どもの育成	○言葉による見方・考え方を働かせ、学びを深める授業づくりの工夫 ・伝え合う目的や視点を明らかにし、個々の考えの形成を目指す学習活動の工夫 ・根拠にした叙述や理由・言葉をよりどころにし、思いや考えを深められるような手立ての工夫
社会	社会がわかり、社会とつながる子どもの育成	○子どもが問い、子どもがゴールする授業づくりの工夫 ・地図、写真、グラフ等の資料の積極的な活用 ・学び合いによる「広がり」と「深まり」を生かして、めあてのゴールを子どもの言葉で書く
理科	科学的な思考力や表現力を身に付けた子どもの育成	○一人一人の問いや考えを学習に生かす支援の工夫 ・情報交換を基にした議論や練り合いの場の工夫 ・ICTを活用しながら、結果や自分の考えの変容が分かるノートづくりと振り返りの充実
生活	人、地域、自然とふれ合い、共に学ぼうとする子どもの育成	○人や地域、自然との関わりから生まれる、知的な気付きの質を高める指導の工夫 ・自己の成長に気付くことができるような振り返りの工夫 ・子どもの興味・関心に応じた単元計画づくりと相手を明確にした交流活動の充実
音楽	音楽に対する感性を働かせ、楽しんで音楽表現する子どもの育成	○多様な音楽とのかかわりを広げ、感じ取ったことを思いや意図をもち主体的に表現できる活動の工夫 ・思いや意図、感じ取ったことやイメージしたことを共有し、他者の感じ方や考え方に共感しながら、自分に合った表現を深めていく場の設定 ・音楽活動と言語活動を適切に行き来しながら表現や鑑賞に取り組み、それによって考えたことや感じたことをより明確にするための振り返りの実践
図工	自分の思いをもち、自分の表したいことに近づこうとする子どもの育成	○子どもの表したいことを大切にし、子どもなりの価値をつくりだすことができる授業づくりの工夫 ・自分の表したいことを基に、めあてを設定し、見通しをもって活動する場の工夫 ・形・色・イメージを基に互いの作品のよさやおもしろさ、表現の意図等について、見方や感じ方を広げたり、価値付けたりする学び合いの充実
家庭	家族の一員として家庭生活を見つめ、生活をよりよく工夫しようとする子どもの育成	○家庭と連携しながら実生活との関連を図り、よりよい家庭生活を創造する資質、能力を育成する学習過程の工夫 ・知識や技能を活用し、実践力を高めるための体験的な活動の充実 ・日常生活の中から見いだした課題を解決、次への実践意欲につなげる振り返りの工夫
体育	かかわり合いを通して運動することの楽しさや喜びを味わえる子どもの育成	○友達とかかわりながら、運動の楽しさや喜びを味わえる指導方法や学習活動の工夫 ・「できる・わかる・楽しい」を感じることができる学び合いの工夫 ・考えの広がりや深まりが実感できる振り返りの実践